

Into my Packet



後藤滋樹の

## 新・社会楽

後藤滋樹  
goto@goto.info.waseda.ac.jp  
早稲田大学 理工学部 情報学科

## 第50回「敏感と鈍感」

## 【食べ物の好みは千差万別】

人間は総じて同じように見えることもあるが、日常生活では個人差が目立つ場面が多い。中でも食べ物の好みは一概に言えない。納豆が大好物の人がいるかと思うと、あんな臭いものは嫌いだという人も。辛いものが好きな人がいけば、絶対に食べられない人も。お酒がなければ生きていけない人もあれば、アルコールは毒物だという人も。

たばこは食品ではないが、好みが分かるところだ。禁煙ならぬ嫌煙となると、電車や飛行機の座席が区別されたり車両が別になったり、あるいは建物の中は禁煙だったりということもある。ホテルの部屋にも禁煙室がある。筆者は学生時代にたばこを吸っていたこともあり、一時はパイプ党であったが、喫煙者の気持ちもわかる。その一方でたばこの匂いには敏感なので、嫌煙に近い行動をとることもある。

違いが目立つのは食べ物や嗜好品だけではなく、世の中には楽観的な人もいれば、悲観的な人も。この違いは外観だけでは見分けにくい。颯爽と風を切って歩いている人が意外にも厭世観の持ち主だったりする。気持ちをあまり外面に出さないのが大人だということか。その点で、赤ん坊は正直だ。いつでもニコニコ笑っている赤ちゃんもいけば、常に泣き顔のボクもいる。

## 【違いのわかる人】

食べ物については「違いがわかる」という人がいる。テレビのコマーシャルではコーヒーの違いを長年にわたって訴えている。最近ではワインの味や香り、色を語るのが流行のようだ。私自身はコーヒーの違いはよくわからない。日本茶の違いは多少感じる。ワインはサッパリだが、日本酒は全然違うぞ、という具合に和風感覚なのだ。

違いは食べ物だけではなく、喫煙する人はたばこの違いを感じている。嫌煙の人のために付言しておく、たばこの味は相当に違う。その証拠に、喫煙する人は大体特定の銘柄を常用している。推理小説で、犯人の見当をつけるのにたばこの銘柄が使われるぐらいだから、これは相当に癖になっている。中毒というほうがより正確かもしれない。

さらにオーディオマニアは音の違いを感じるし、そもそも楽器だって相当に差がある。自動車マニアにはエンジンの違いがわかる。スポーツの世界でも道具に凝るのは同様である。パソコンだってキーボードのタッチ、画面の見やすさには差がある。そもそもCPUの速度が違うし、バッテリーの持続時間にも差がある。

## 【敏感は幸福か】

違いのわかる人には、ある種の能力がある。凡人には区別できないもので、違いのわかる人は差異を指摘できるのだ。しかし、違いがわかることが幸福なのかどうか。あまり敏感な人はかえって日常生活が不幸になる場合がある。

水の味の違いが気になる人がいる。水道では駄目で浄水機を入れる。「イオンなんとか装置」で処理した水しか飲まない。自宅に立派な装置を備えても、友人の家や旅行中はどうにもならない。

オーディオ装置にうるさい人がいる。自宅は部屋まで特別に設計している。普通の音はとて聞けない。その安物のスピーカから音を出すのはやめてくれないか。皆が平気で楽しんでいる時に、ひとりストレスが溜まる。

ファッションのセンスが抜群なだけに、今日の服装はとて気になる。この色のコーディネートでは駄目だわ。ああ、このワインの味はなんだ。なぜ皆が平気で飲んでいるのだろう。



## 【それなりに社会的な負担】

人間のバランスというのは絶妙である。料理にうるさい人、ファッションの達人、ゴルフの道具にかけては……と、いろいろな人がいるが、万能の人は存在しない。そこが救いでもあり、人間の面白いところである。料理の先生のお宅にいくと、室内が乱雑であったり、おしゃれな人が粗食で平気だったりする。

平等主義という思想があるが、好みまで平等になるとつまらない世界になる。料理というものを一切考えないで、単に食物をエネルギーとして計算すると、1人1日に1ドル分の小麦粉で足りるという説がある。それでも生物としての人間は存続できるという。

それじゃ味気ない。ということで食物グルメの人々が活躍し、そのおかげで我々も小麦粉だけの生活をしないで済む。ワインだって、安価でそこそこの品物が入手できるようになったのは、味にうるさい人のおかげだと思う。実は水道局だって、水の味には気を配っているのだという。

このように考えると、マニアのような、達人のような、趣味が高じた人のお蔭で世の中のいろいろな面でのレベルが高まってきたように思える。つまり、違いのわかる人は結局のところ社会に貢献していることになる。

いきなり話が飛ぶようだが、実は研究者という人々は、それぞれの分野で違いがわかる人、敏感な人、他人の意見に迎合しない人である。いかに世間から隔離したように見える研究でも、その本質においては社会的な活動としての意味がある。

Illustr : Harada Kaori



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)